

4. 登録3業種における兼業状況(表-4、図-2)

平成29年度末における登録3業種における兼業状況を見ると、前年度末と比べ、3業種とも登録している(3業種兼業)業者が増加している。また、専業業者は測量業、建設コンサルタントは減少し、地質業は増減なしである。

以下に、それぞれの登録業種からみた兼業状況※について述べる。

(1) 測量業

測量業のみを登録している(専業)業者数は9,001業者(75.5%)、測量業と建設コンサルタントを登録(2業種兼業)している業者数は2,055業者(17.2%※)、測量業と地質調査業を登録している(2業種兼業)業者数は76業者(0.6%)、測量業と建設コンサルタントと地質調査業を登録している(3業種兼業)業者数は785業者(6.6%)であった。

また、3業種の登録業者の中で専業業者の比率が最も高く75.5%となっている。

(2) 建設コンサルタント

建設コンサルタントのみを登録している(専業)業者数は1,016業者(25.8%)、建設コンサルタントと測量業を登録している(2業種兼業)業者数は2,055業者(52.1%※)、建設コンサルタントと地質調査業を登録している(2業種兼業)業者数は88業者(2.2%)、測量業と建設コンサルタントと地質調査業を登録している(3業種兼業)業者数は785業者(19.9%)であった。

また、測量業との兼業が多く、3業種兼業の業者数とあわせると2,840業者になり、建設コンサルタントの72.0%が測量業との兼業となっている。

(3) 地質調査業

地質調査業のみを登録している(専業)業者数は328業者(25.7%)、地質調査業と測量業を登録している(2業種兼業)業者数は76業者(6.0%)、地質調査業と建設コンサルタントを登録している(2業種兼業)業者数は88業者(7.0%)、測量業と建設コンサルタントと地質調査業を登録している(3業種兼業)業者数は785業者(61.5%)となり、3業種兼業の比率が高くなっている。

※ { 同じ組合わせの兼業であっても、割合が異なる。
測量業と建設コンサルタントの兼業業者2,055業者は、測量業に着目した場合17.2%となるが、
建設コンサルタントに着目した場合52.1%となる。 }

表一4 登録3業種における兼業状況

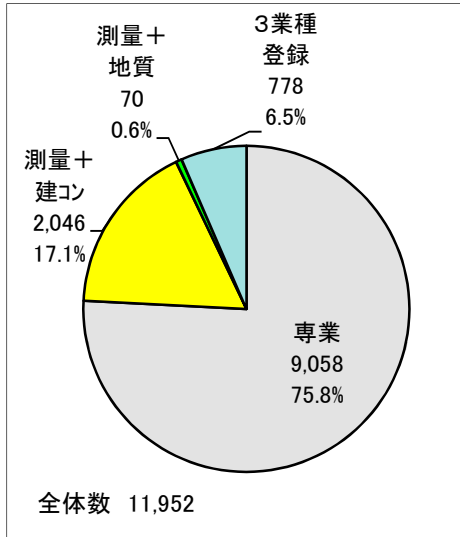
	測量業者		建設コンサルタント		地質調査業者		
	業者数	構成比	業者数	構成比	業者数	構成比	
当該業種のみ登録	28年度	9,058	75.8%	1,037	26.2%	328	25.9%
	29年度	9,001	75.5%	1,016	25.8%	328	25.7%
2業種を登録	28年度	2,116	17.7%	2,136	54.1%	160	12.6%
	29年度	2,131	17.9%	2,143	54.3%	164	12.8%
測量業を登録	28年度	-	-	2,046	51.8%	70	5.5%
	29年度	-	-	2,055	52.1%	76	6.0%
建設コンサルタントを登録	28年度	2,046	17.1%	-	-	90	7.1%
	29年度	2,055	17.2%	-	-	88	7.0%
地質調査業を登録	28年度	70	0.6%	90	2.3%	-	-
	29年度	76	0.6%	88	2.2%	-	-
3業種とも登録	28年度	778	6.5%	778	19.7%	778	61.5%
	29年度	785	6.6%	785	19.9%	785	61.5%
登録業者数(計)	28年度	11,952	100.0%	3,951	100.0%	1,266	100.0%
	29年度	11,917	100.0%	3,944	100.0%	1,277	100.0%

※「構成比」は、小数点以下第2位で四捨五入としている。このために誤差が生じることがあり、「計」が一致しないことがある。

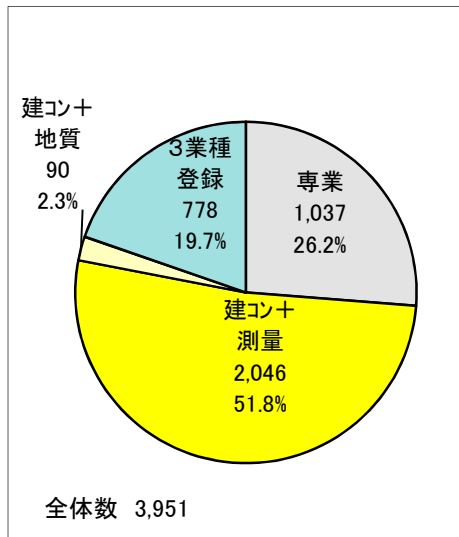
図-2 登録3業種における兼業状況

平成28年度

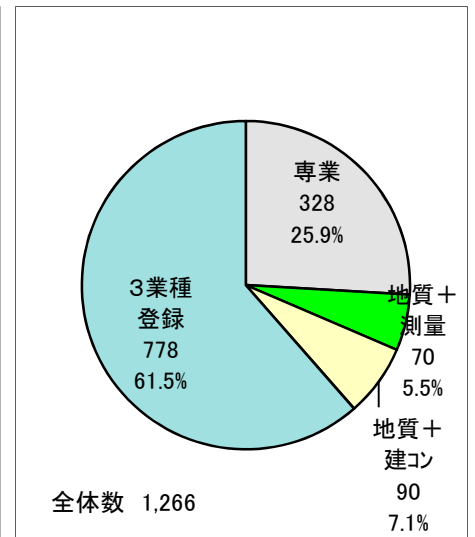
① 測量業



② 建設コンサルタント

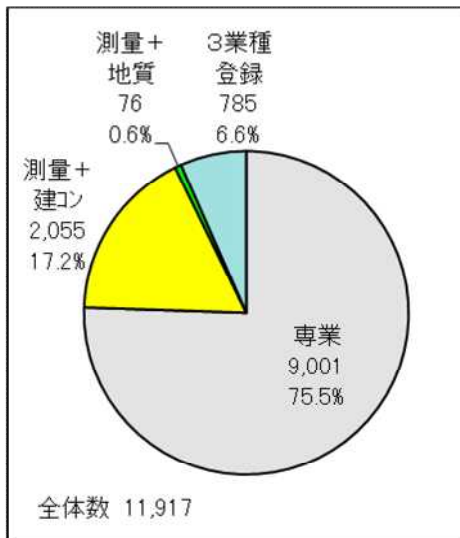


③ 地質調査業

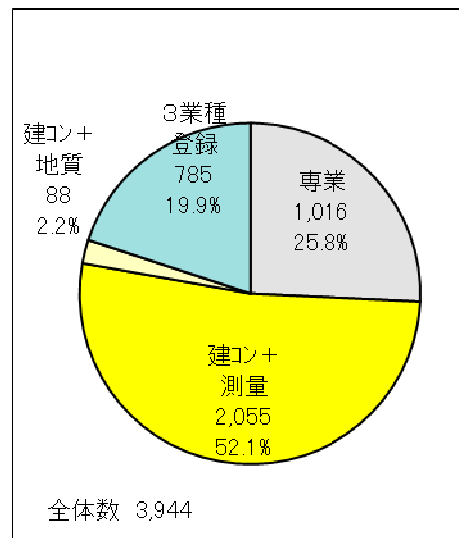


平成29年度

① 測量業



② 建設コンサルタント



③ 地質調査業

